

# 東日本大震災からの港湾の復興状況



復旧が進む  
高砂コンテナヤード

【平成23年9月5日撮影】



復興へ  
頑張ろう！  
みやぎ

平成23年11月24日  
宮城県土木部

## <仙台塩釜港(仙台港区)> ガントリークレーン供用再開



平成23年9月5日ガントリークレーン供用再開

○東日本大震災により、高砂コンテナターミナルに設置されているガントリークレーン（GC）4基について全て使用不能となっていたが、平成23年9月5日にそのうちの1基（2号機）が供用を再開

○残り3基のガントリークレーンについても、順次供用を再開

### 復旧スケジュール（予定）

GC 4号機	11月下旬稼働
GC 1号機	12月上旬稼働
GC 3号機	3月末稼働

## <仙台塩釜港(仙台港区)> 日本初 45フィートコンテナ実用化

○日本で初めて、45フィートコンテナが公道輸送され、9月15日に北米に向けて輸出

○現在、仙台塩釜港では45フィートコンテナによる輸出が毎週定期的に行われている。



平成23年9月15日45ftコンテナ荷役

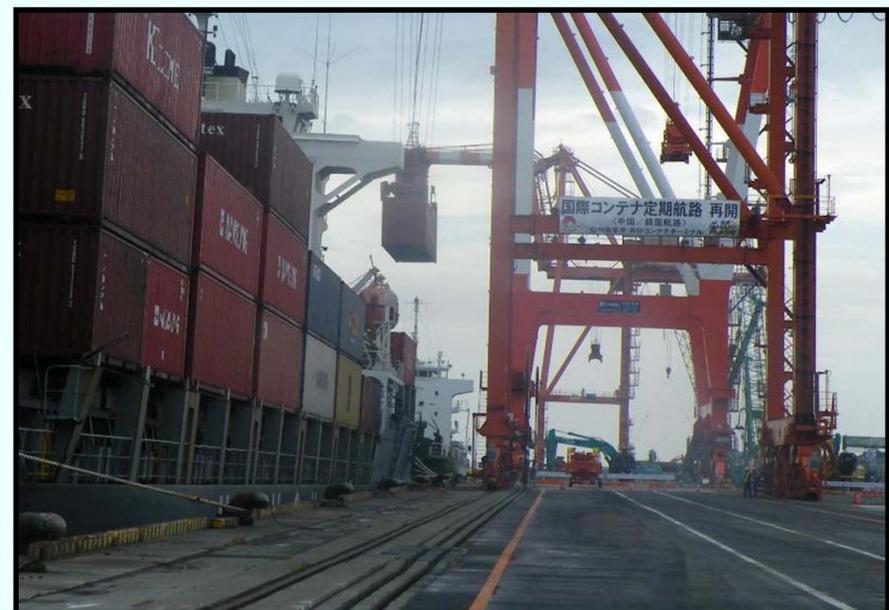
# < 仙台塩釜港(仙台港区) > 外貿定期コンテナ航路再開

東日本大震災後初となる待望の**外貿定期コンテナ航路の寄港が9月30日に再開**

- 大連港、青島港や釜山港へのダイレクト航路（週1便）
- 釜山港経由により中国、ベトナム、タイとの輸出入が可能

寄港地

仙台（月）～釜山（木）～蔚山・光陽（金）～大連（土・日）～青島（月）～釜山（水・木）  
～新潟（金）～苫小牧（日）～仙台（月）



平成23年9月30日外貿定期コンテナ航路再開（南星海運株）

## <石巻港> 飼料原料積載大型貨物船の入港再開

○7月11日に、家畜飼料の原料を積載した大型貨物船が東日本大震災後初めて日和7号岸壁に入港

船長：188.5m、重量トン数：52,950ト



## <石巻港> 石炭積載大型貨物船の入港再開

○9月10日に、日本製紙株式会社石巻工場でボイラー燃料として使用する石炭を積載した大型貨物船が、東日本大震災後初めて雲雀野中央埠頭2号岸壁に入港

船長：183m、重量トン数：46,769ト



## <石巻港> 震災ガレキ処理の進展

○石巻港では、現在、石巻ブロック（石巻市、東松島市、女川町）で発生した震災ガレキの一部が一次仮置きされている。

○宮城県では、石巻港に二次仮置き場（震災ガレキの選別、破砕、焼却等を実施）及び中間処理後の埋立用材として利用可能な再生資材の海面処分場の整備を検討中



一次仮置き場の状況



ガレキの運搬状況